

レイモンド淡海保育園 第三者評価調査報告書

【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が文書(事業計画等の法人(保育所)内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、法人(保育所)が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人(保育所)の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
理念や基本方針はホームページやパンフレット、重要事項説明書に明文化します。見学・説明会の際には、保育理念・保育方針についての保育の特色について、わかりやすく説明し、資料を配布しています。職員に向けては法人で作成した冊子を配布して、朝礼や、職員会議に読み合わせを行い、周知徹底に取り組んでいます。保護者にわかりやすく、理解される工夫を期待いたします。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			<input type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
法人による内部監査があり経営会議等を開催し経営状況や課題について検証して情報共有されています。地域の動向については地域行事への参加や地域協議会に参加し交流を積極的に行い、ニーズの把握分析に努めています。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの数・利用者(子ども・保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
経営状況について現状分析をもとに課題について法人本部に相談したり、職員会議で今後の対策を話し合い分析して改善に努めています。内容に応じて法人本部と迅速に対応できる環境を整えています。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
中・長期計画は法人本部が主体で策定されているが、園の具体的な計画や目標については必要に応じて見直し取り組んでいます。成果後に実施状況の見直しが行えることを期待いたします。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
事業計画は「法人の基本理念・事業計画」を策定しています。園の事業計画は項目に沿ってわかりやすく記載され、具体的な内容で実施策定されています。数値目標や成果の設定がされておらず、目標実現に向けた取り組みを期待いたします。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
年度初めに職員会議で、法人本部の事業計画を職員に配布し説明をしています。事業計画の保育内容を、個々の職員の目標設定に反映し、目標管理の実践に繋がっています。上期、下期で見直し計画の評価を行い報告書を作成し、次年度の事業計画作成に繋がっています。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。

7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
	事業計画の主な内容をわかりやすく記載し、毎年配布(配信)し保護者に周知を図っています。入園前説明会、保護者総会、クラス懇談会等で説明しています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	職員の目標管理の仕組みを構築し、質の向上に向けPDCAに基づいた取り組みを実施しています。乳児会議、幼児会議を月1回開催し保育内容について評価を行っています。評価基準に基づいて評価を実施し必要に応じて見直しを行っています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづく保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ	職員間で課題の共有化が図られている。
	園長会議や職員会議、主任会議等で課題について、園全体で課題について共通の認識を持ち、問題解決に努めています。乳児、幼児会議を行い日々保育の質の向上に向け改善出来るように日々取り組んでいます。施設の自己評価、第三者評価に基づいて課題を明確化し、改善を実施しているが把握された課題が職員間で共有されていないため、改善方針を計画的かつ組織的に取り組むことを期待いたします。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input type="checkbox"/>	エ	評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
	役割や責任について職務分掌表、就業規則に記載し、保育の質の向上に繋がる助言や指導を行っています。職員との信頼、構築に向け職員会議等で説明し理解に努めています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
	子ども基本法、児童福祉法、子ども子育て支援法などの研修に参加し職員に周知しています。保育指針や子ども基本法に沿って子どもの遊びと学びがされるように、玩具の種類や配置を定期的に見直すように取り組んでいます。職員の心得や就業規則で労働環境を守り、働きやすい環境作りを努めています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	子ども主体の保育の実践に向け、クラス担任、クラスリーダーと共同し、ミーティングを重ね課題改善に努め、保育の質の向上に取り組んでいます。週案や月案についての助言やアドバイスを行い、園内外の研修への参加を促すなど、職員のスキルアップを図っています。保育の内容や疑問、悩み事について話し合ったり助言をし保育の質の向上に取り組んでいます。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
	職員とコミュニケーションを図る中で、問題点や改善案を把握分析し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。業務の実効性を高めるための具体的な体制構築を期待いたします。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ	施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		自己評価結果	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	<p>ア 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。</p> <p>イ 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。</p> <p>ウ 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。</p> <p>エ 法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。</p>
判断した理由・特記事項等			
法人が作成している「人材確保・人材育成プログラム」を活用しながら計画的に人材の発掘・確保に努めています。また、ホームページやSNSを駆使して啓蒙活動も行っています。そうした取組の成果として、近年、若手の人材も増えてきており、OJTプログラムの内容も充実してきています。			
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	<p>ア 法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。</p> <p>イ 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。</p> <p>ウ 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。</p> <p>エ 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。</p> <p>オ 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。</p> <p>カ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができています。</p>
判断した理由・特記事項等			
人事管理は現場だけに委ねるのではなく、本部人事部により集中・一元管理が行われています。勤怠管理はもちろんのこと、採用・配置・異動・昇進・昇格等は、明確な基準のもと、適正な運営がなされています。職員のキャリアアップについても、「まなびサポート制度」や「マネージャーチャレンジ試験」が整備され、職員自らが将来設計を描けるよう総合的な仕組みが整備されています。これらの制度を活かすため施設長は、年3回の職員面談を行い、一人ひとりの意向や意見を聞き取るようにしています。			
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		自己評価結果	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	<p>ア 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。</p> <p>イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。</p> <p>ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。</p> <p>エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。</p> <p>オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。</p> <p>カ ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。</p> <p>キ 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。</p> <p>ク 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。</p>
判断した理由・特記事項等			
労働条件や福利厚生については、労使協定が結ばれています。勤怠管理の一例として、有給休暇の所得については、年に最低5日の所得が奨励されていますが、未取得の職員がいる場合は、期日が迫ると警告アラートが通知され、職員の福利厚生を守る仕組みが整備されています。また、月ごとの公休日数や休暇の取得については、本人の希望を汲みながら、施設長や主任がワーク・ライフバランスを考慮しながらシフト表を作成しています。施設長は、常日頃から働きやすい職場環境の実現に向け、職員の声に耳を傾け、改善すべき点があれば率先して実行に移し、組織の魅力を高める取組を推進しています。			
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が		自己評価結果	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	<p>ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。</p> <p>イ 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。</p> <p>ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。</p> <p>エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。</p> <p>オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。</p>
判断した理由・特記事項等			
「個人目標カード」をもとに、個人面談を、目標設定時・中間時点・振り返り時と、年3回以上実施し、施設目標と職員一人ひとりが立てた目標とのすり合わせや進捗状況の確認を行っています。こうした一連の取組をとおり、個人の課題と次への目標を明確にし、適切なアドバイスのもと一人ひとりのスキルアップに繋がるよう配慮しています。			
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	<p>ア 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。</p> <p>イ 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要なとされる専門技術や専門資格を明示している。</p> <p>ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。</p> <p>エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。</p> <p>オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。</p>
判断した理由・特記事項等			
園として期待する資質と職員本人が臨む内容を踏まえ、研修への参加を積極的にバックアップしています。法人主催の階層別研修以外にも、本人のスキルアップを図る専門分野研修への参加も奨励しています。また、各種の研修に参加した職員は、園内研修の講師を務めるなど、研修内容を一人のものに留めず、職員全体で共有できる体制を整えています。			
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	<p>ア 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。</p> <p>イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。</p> <p>ウ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。</p> <p>エ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を奨励している。</p> <p>オ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。</p>
判断した理由・特記事項等			
法人として、階層別研修や職種別研修に参加しやすい環境を整えています。また、キャリアアップ研修や資格取得研修に参加しやすいように支援金支給制度や勤務体制上の優遇措置を整えています。これらの制度については、研修予定表として職員に周知され、参加が奨励されています。			

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
	法人として「実習生受け入れマニュアル」が整備されており、専門職種の特性に配慮したプログラムが準備がされています。実習生派遣元の各大学とは綿密な連携が図られ、優れた保育士の育成に寄与しています。園としては、実習生を受け入れる機会を、将来の保育士育成の場と捉えるばかりではなく、自らの保育実践を見つ直す機会と捉え、共に学び合う取組を進めています。		<input checked="" type="checkbox"/>	専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	指導者に対する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	園及び法人のホームページに、保育理念や運営方針、保育目標や財務状況等について情報を公開しています。紙ベースの公開としては、園玄関にファイルを設置し、常時、閲覧できるようにしています。また、苦情件数とその概要についてもホームページにて広く公開しています。地域への発信については、SNSを活用して保育園情報を発信しています。		<input checked="" type="checkbox"/>	第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22		② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
	法人本部のサポート体制を受けて、会計監査を実施、監査支持を受けています。同時に近隣姉妹園との内部監査を行い、定期的に運営についての相互評価を行っています。また、評価結果から見つかった改善点については、可能な限り迅速に改善を図るよう努力しています。外部監査や外部評価の結果は、広く情報を公開しています。		<input checked="" type="checkbox"/>	保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
	地域事業について明記し職員会議などで取組状況を伝え周知徹底しています。散歩に出かけた際には地域の方たちと挨拶を交わすなど、交流が図られるよう心がけています。レモン広場を開催して看護師が育児相談を行い、発達や健康診断の相談を行っています。子どもの家庭及び地域との結びつきを重視した、計画では園行事を通した小学校との5・5交流などを実施しています。		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24		② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
	職場体験やボランティアを受け入れマニュアルに沿って実施しています。人形劇や絵本の読み聞かせなど、継続的に受け入れる仕組みが整備されています。受け入れにあたっては、実習マニュアルの対応手順、受け入れオリエンテーションを行い保育に入ってもらおうようにしています。体験後は声を聞く機会を設け、情報収集に努めています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	学校教育への協力を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	<input type="checkbox"/>	当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
	近隣の保育園・幼児園・小学校ならびに関係機関など集まる協議会に参加し、現状や課題について情報共有を図り理解を深めています。虐待や育児不安のある保護者については、日々の投障の様子を見守り子育て支援センターや児童相談所と連携できる体制を整えています。関係機関と連携を継続に努めるとともに、職員の理解をさらに深めて行くことを期待いたします。		<input type="checkbox"/>	関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
26	① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。
地域の課題解決に向け、職種役割の「子育てエリアネットワーク会議」に参加し、地域の福祉ニーズの把握に努めています。様々な職種のスタッフがいるため、連携をとりながら現状や悩みを共有し、支援や助言をしています。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 災害時の地域における役割等について確認がなされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。
27	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
把握した地域の福祉ニーズに基づき、「ベビーマッサージ」や「リズム遊び」等を通し、親子で触れ合う遊びの場をつくり子育て支援参画などでも地域貢献への一端を担っています。ホール開放を実施し、地域支援として園を訪れた家庭の子育て相談にも応じています。「人とのつながり」社会との「つながり」を育む取組を行っています。災害時の受け入れ体制はありますが、職員での共有や地域への連携を期待いたします。			<input type="checkbox"/>	ウ 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
子どもを尊重した保育の実施について、理念・方針に明示されており共通理解が図られ、運営規定やマニュアルに反映されています。定期的に人権擁護の為のセルフチェックが実施され、自己評価ができるよう定期的に機会を設けています。子どもがお互いの人権を尊重できるよう発達段階に合わせ、子ども同士が認め合う配慮をしています。保護者に子どもの人権について、園のしおりや保護者懇談会等で理解を図る取組を行っています。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)
29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子ども虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
子どものプライバシー保護について、運営規定や個人情報マニュアルに示し周知徹底されています。プライバシー保護について、園の方針や取組について記載した需要事項説明書を保護者に配布して周知徹底され理解を得ています。着替える際はパーテーションで仕切り男女分かれて外から見えないよう配慮されています。プライバシー保護に関する研修を全職員が受講し、理解が図られています。保護者に向けて、具体的な取組が理解していただける工夫を期待いたします。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務・利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について職員に研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した保育が実施されている
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容になっている。
理念や基本方針、保育内容や特性等についてはホームページに詳しく記載しています。同時に、パンフレット等の資料も準備し、誰にでも分かるよう配慮しています。入園希望される段階では、園長や主任が1対1の対応をし、より丁寧に、より具体的に情報提供するよう心がけています。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 見学等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。

31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	日頃の保育内容に変更が生じる場合は、事前にお知らせ出来るよう努力しています。オンライン配信・保育室前や玄関先での掲示・個別のお声かけなど、内容に応じた対応に心がけています。保育方針等の変更については、年度始めや年度末の保護者会で説明し、変更内容にご納得いただいた上で契約書を提出していただくようしています。外国にルーツのある方へは、外国語対応を心がけています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
32	保育所等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
	保育所等の変更にあたっては、学校教育法下の「学校」とは違い、その手続き等について明文化が図られていない実態があります。今後、行政との連携の中で整備が進むことを期待します。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
33	① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(保育所)
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所)
	行事ごとに参加者アンケートを実施し、意見や感想を次の行事に生かせるようにしています。また、年度末には一年の総括アンケートを実施し、園のサービス・職員の対応・設備などについて忌憚のない意見や要望をお寄せいただく機会を作っています。当園は保護者会がないため、必要に応じて個別懇談や保護者懇談の機会を設けています。子どもたちの満足度把握については、日々の保育実践をととして、その表情や言動に留意して把握していくようにしています。保護者懇談会や個別懇談会での聞き取り、利用者の満足度を把握し改善に努めてもらう事を期待いたします。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(保育所)
			<input type="checkbox"/>	エ	職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(保育所)
			<input type="checkbox"/>	カ	分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(保育所)
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
	苦情解決に向けた取組は法人として確立されています。園としても第三者委員を設置するなど、苦情解決のフローチャートは決められています。苦情受付は主任保育士、苦情解決責任者は施設長です。匿名希望の場合は、園玄関の「意見箱」を利用してもいいし、直接本部へ相談することも出来ます。頂いたご意見は、直ちに関係する職員間で共有し、解決に向けた話し合い等を持ち、誠意ある解決を目指しています。返答は可能な限り早く行い(フィードバック)、内容に配慮した上でホームページ等で全利用者公表し、再発防止に努めています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	苦情解決フローは、園のしおり等で周知し、対面相談の希望がある場合は、落ち着いた話せる個室が準備できています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
	職員は、日々の保育実践をととして、保護者が相談し易く意見を述べやすいように笑顔で接するなど、細かな配慮を怠りません。朝のお見送りや夕刻のお迎えの場では、一日の出来事やエピソードを伝える中で、相談事や意見を傾聴するように努めています。職員が把握した意見や相談事は、マニュアルに沿いつつ、関係職員・主任・施設長が共有し、迅速な対応を検討しています。内容によっては、本部とも情報共有を行い、法人としての改善策が樹立できるよう体制の整備が進められています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
	園長がリスクマネジメントマネージャーとなり安心、安全を脅かす可能性のある場面ごとに対応マニュアルを作成し、会議等で職員に周知徹底しています。職員は事故発生時に事故報告書、ヒヤリハット報告書を作成し、発生要因の分析や再発防止策の検討を行っています。不審者訓練や熱中症、誤食、SIDS訓練を定期的実施し事故報告書をもとに安全策を検討し、職員の安全に対する意識を高める取り組みが行われています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。

38	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	感染症マニュアルを基に看護師から助言を受けながら対応が行われています。毎月の感染症や健康に関する研修のほか、日々の手洗い、検温、消毒等を徹底し、園内全体で感染防止に努めています。感染症に関するマニュアルは、園長、主任、看護師で見直しを行い、最新情報を更新し職員全員に周知徹底されています。保健だよりを毎月発行して季節に応じた疾患情報を保護者に配信しています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	災害時の対応体制が決められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
	災害時の対応体制を整備し毎月地震や火災等を想定した避難訓練を実施しています。食料や備品等の備蓄リストが作成されており、アレルギー児や離乳食にも対応できるように整備されています。緊急連絡網を園長室及び各クラスの連絡帳に記載し、全職員が周知徹底されています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	標準的な実施方法が適切に文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
	保育についての標準的な実施方法はマニュアルに文章化されており、さまざまな保育の場面ごとに作成され、プライバシーの保護や権利擁護について明示されています。マニュアルは会議および研修で周知徹底されています。マニュアルに基づいた保育が行われているかどうかは、園長、主任、クラスリーダーで確認する仕組みづくりがされています。自己評価チェック表を活用、読み合わせをし、更なる質の向上を期待いたします。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			<input type="checkbox"/>	エ	標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
			<input type="checkbox"/>	オ	標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。
	保育の標準的な実施方法は年度末に見直しや検証が行っているが、必要に応じて随時見直しを行っています。職員や保護者からの意見や提案をクラスで話し合い、指導計画に反映させています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画策定の責任者を設置している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。
	入園時や進級時に、書面や個別面談を行い、アセスメントを実施し全体的な計画に基づいて、保護者の意見収集を計画書に反映作成しています。支援や療育を必要とする子どもについては個別指導計画が作成されています。指導計画は園長、主任、が作成や考え方の指導を兼ね確認して、職員のレベルアップに繋げています。計画に基づいた保育実践は、園長、主任、同席の基にクラス会議で振り返りと評価を行い、次年度の計画に反映されています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	全体的な計画にもとづき、指導計画が策定されている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
	毎月の指導計画は業務日誌に基づき、クラス担任で月の指導計画の振り返りを行い、次月に繋げています。指導計画を変更する場合は各担任から園長主任へ相談、確認をとる仕組みが整備されています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	指導計画を緊急に変更する仕組みを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分でない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口チェック)
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
	子どもの発達状況については園の児童票、チェック表等で記録し、内容に差異がないか確認し、必要に応じて乳児・幼児・職員会議等で意見を出し合い、職員間で共用する仕組みが整備されています。個人票に個別の具体的な内容、環境、家庭連携が記載され生かされた計画内容が実施されています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
45	確! 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
	個人情報管理規程や記録管理責任者を定め、個人情報保護に努めています。職員会議で個人情報保護については周知され、理解され、園の保育マニュアルにも明示されています。パソコンの取り扱いについては情報推進者がセキュリティ自己点検チェックをもとに研修等で情報管理の意識向上に努めています。園の個人情報の取り扱いについては、入園説明会や入園のしおりで説明し保護者の承諾を得ています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 記録管理の責任者が設置されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

レイモンド淡海保育園 第三者評価調査報告書

【内容評価基準】

A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
1	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心の発達や家庭及地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて編成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。
	全体計画(保育過程)は、法人本部の理念及び保育目標に基づき、園の置かれている地域性や子どものことを考え作成されています。各クラスのリーダーを中心とした定期的に見直し、評価を行い、よりよい計画に繋がるように考慮されています。園の玄関に近いところに張り出すことで、保護者や訪問者にも知らせる配慮がなされています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
2	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
	限られたスペースの中で、室内の温度、湿度、換気、採光、音、においなどの環境をより良く持っていく工夫がされています。ポルダリングが設置されており、室内での運動、活動も積極的に行われています。異年齢保育においても、職員間での十分な話し合い等が行われ、その都度子どもたちにとってベストな環境が模索されています。基本的な生活習慣を身につける場であるトイレ、洗面所、食事スペースにおいて子どもファーストで清潔感のある環境が整っています。今後においても 異年齢保育の中での課題にアンテナを張り、園全体での改善に取り組まれる事を望みます。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
3	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
	乳児においては育児担当制を取り入れ、基本的な生活習慣を中心とし、個々の成長をみまもり、援助する保育が行われています。異年齢保育を行う事でのメリットを大切にしつつ、各学年としての成長の保証も工夫されています。クラス担当だけでなく、園全体で個々の子どもたちを見守られ育つ環境が整えられています。子どもたちにかかる言葉がけにも園全体として意識され、職員同士が気にかける良い環境が整えられています。混合クラスとしての部屋割りでも子どもの成長と時期、課題により年齢別にコーナ分けができています		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ せかず言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
4	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
	混合クラスにより、子供たち自ら育つ保育を実施しています。子どもの生きる基盤となる生活習慣を各発達年齢において大切にされた保育が行われています。集団の中においても、個々のリズムを大切に職員が子どもたちに関わっています。見直しや計画を行い、園長、主任の助言のもと話し合い、も頻度に行われています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
5	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
	園庭や、環境が整っていない面を保育カリキュラムで補い、子どもたちの自主性をはぐむ工夫する取り組みを行っています。散歩コースの工夫、狭い花壇や、プランター等での野菜の栽培、階上にある大きなホール利用などの取り組みにより、子どもたちの大きな成長のステップアップに向け過ごせる環境が整えられています。異年齢保育においても、発達年齢を超えたかかわりによって得られ、成長が見られる工夫がされています。プレイルームを整備し、主体的な生活、や遊びができる環境づくりがあります。隣接する老人施設を訪問し、日頃からふれあい遊び交流を深めています。戸外の状況も季節ごとに見直し検討され、交通状況を把握し散歩コースも十分調査し、社会的なルールを知る体験に繋がっています。地域的にむづかしい面もあるようだが、地域の人々と交流される活動を期待いたします。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 生活と遊びを通して、友だちなど人間関係が育まれるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			<input type="checkbox"/>	キ 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			<input type="checkbox"/>	ケ 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	コ 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。

6	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
	0歳児が安心して過ごせる環境が整っています。担当保育を実施することで、愛着関係を築かれていて、情緒的にも安心、安定した人間関係の中で保育が行われています。アプリの導入により、保護者との連絡もスムーズに行われ保育にも生かされ連絡帳や送迎時の会話で園の様子を伝え、保護者の安心感にもつながっています。子供たちの遊びや生活の姿がよくわかり、保護者との情報共有を図り、安心、安全な援助に努めています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
7	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	1.2歳児は成長に伴ってできる事が増え、他者との関わりが多くみられる中、自我の成長を受け止め個々を大切に保育が行われています。育児担当保育により、一人ひとりの生活リズムに合わせて自己肯定感を育み、安定した園生活を送れるように極め細やかな配慮、支援がなされています。仕切りで隣土のコーナー(空間・部屋)に分けられ、年齢による活動(遊び)が設定されています。笑顔の職員が子どもたちへの見守り、言葉かけがよくできています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等が、友だちとの関わりを仲立ちをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
8	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	子どもが自ら選択し、主体性を持った遊びができるように個々の力を伸ばす保育の取組に「コーナー保育」を取り入れ、興味のある遊びを選択し遊べる環境づくりがあります。各年齢に合わせたカリキュラムが行われるための間仕切りなどの環境も工夫がされています。子どもたちが楽しみながら英語教室に興味を示し笑顔が見られました。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの育ちや取組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
9	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input type="checkbox"/>	ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	医療的援助の必要な園児は、保健室でしっかりと看護師が対応して保護者も安心できる環境が整備されています。障がいのある子どもへの指導計画がたてられており、クラス中での遊びを保証しつつ、個々への対応がしっかりとされています。保育士はどの子どもにも同じ対応に心掛け、思いやりのある保育に努めています。クラスの友達と一緒に楽しむことができるよう心掛けています。保護者や、外部機関との連携も密にとり、子の発達を保証する取組みがされています。加配職員が寄り添って無理のない保育が進められています。職員は、内部での事例研修や外部での研修にも取り組んでいます。今後さらに環境の工夫(防音対策・落ち着けるスペースづくり)等を進められる事により、より良い保育がされる事に期待いたします。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			<input type="checkbox"/>	ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
10	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	保育士の勤務シフトが確立されています。朝、夕の延長など保育時間が長くなるので、職員の引継ぎ、部屋の環境設定には細心の配慮が行われています。好きな玩具や絵本が置かれゆっくりとした中でお迎えを待つ子どもの様子が伺えます。保護者対応についても、伝達事項を明確にするとともに丁寧な対応が心掛けられています。発達年齢に応じたおもちゃの選定や、合同保育の時間等にも工夫がされ、お迎えまで子どもが穏やかに過ごせるように職員が寄り添う対応がされています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。
11	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
	市の提唱する「架け橋プログラム」幼小連携カリキュラム作成会議に市の中で参加して取り組んでいます。学区で連携や情報交換を行うことで小学校生活について見通しをもちながら保育を進めています。5歳児の就学前保育に生かした取組を実施しています。次年度からプログラムの事業が保護者への安心感に繋がっていくことを期待いたします。		<input type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子ども生活について見通しを持てる機会が設けられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。

A-1-(3) 健康管理		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
12	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
	看護師2名が常駐する環境の中、看護師を中心に保健計画が作成され、職員全体に周知されています。朝の園児の登園時には看護師が子どもを玄関先で迎え入れ、健康チェックが行われています。保健室前には現在の流行の病気のお知らせ、症状も紹介され保護者にわかりやすく説明がされています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの保健に関する計画を作成している。
	保護者に向けても、子どもの健康にかかわる情報が常に得られるよう、入園説明会や保健だよりを通して情報発信を行っています。午睡時においては、SIDSのチェック表を用いて睡眠の状態を確認している。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
	園での感染情報は、玄関の保健掲示板により最新の情報を掲示し、保護者との連絡ツールのアプリでも発信している。		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。
	職員は研修を受け、適切な対応ができる体制が整えられています。		<input checked="" type="checkbox"/>	カ 保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 職員に乳幼児突然死候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 保護者に対し、乳幼児突然死候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
13	健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 健康診断・歯科検診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 健康診断・歯科検診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
	健康診断、歯科検診は年間計画に入れ、結果は保護者に報告しています。日々の歯磨き指導等の健康活動に繋げています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 家庭での生活に生かされるよう保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科検診の結果を保護者に伝えている。
14	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	入園前の保護者との面談を丁寧に行い、該当者については看護師、調理師も交えた懇談で、園での計画を保護者同意のもと進めています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
	職員は年度初めに研修を受け、アレルギー対応ができる体制を整えている。研修に参加出来なかった職員にも職員会議、復命書等でしっかりと連絡されています。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
	アレルギー食品については、代替りの食品への対応を行っています。全体の保護者や子どもたちに対しても、アレルギー等健康に関する話をしています。		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要は知識・情報を得たり、技術を習得している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
A-1-(4) 食事		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
15	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
	基本的には法人からの献立であるが、「世界の料理」・「郷土の料理」なども取り入れ、地図上での掲示される取り組みがされています。食育計画は、3色の食品を作成し、日頃から子供たちと見ながら考え、興味、関心を高める取り組みが出来ています。職員と給食スタッフが連携を取り、より良い食事環境の整備に取り組んでいます。一人ひとりの食事の様子に合わせて食事形態や量を調整し楽しく進めています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
	家庭とも連絡を取り合い、一人ひとりの食事の様子を把握し双方が子どもの健康のために協力している。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食器の材質や形などに配慮している。
	園で、野菜の栽培を子どもたちと行う事での食事の関心を深めるカリキュラム作成が行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
	子どもたちは、自分で配膳することで自分の食べる量を意識する取り組みもされています。		<input checked="" type="checkbox"/>	カ 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。
16	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
	「食」について日頃から興味、関心もてるような掲示(内容)で見られる工夫が来ています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
	給食会議を行い、残食記録や職員の見ている主観などを話し合い、メニューの検討に役立っています。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 季節感のある献立となるよう配慮している。
	地域メニューや、いろんな国のメニュー、季節のメニューを通して食に興味を持ち、食の背景を考えるなどの保育活動に繋がっています。		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域の食文化や行事食などを取り入れている。
	衛生管理マニュアルに基づき、衛生管理の体制が確立しています。		<input checked="" type="checkbox"/>	カ 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
	食べるだけでなく、緑全体の安全管理に調理師がいろいろな点検を付け安心な園生活、楽しく安心して給食が食べられるように工夫に努めています。		<input checked="" type="checkbox"/>	キ 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
17	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
	保育アプリの利用により、園での子どもの様子を動画等でも共有し、保護者への安心へと繋げています。個別懇談やクラス懇談を設けているが、今後さらに子どもの成長を共有できる場とし丁寧に進めていかれる事に期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
			<input type="checkbox"/>	エ 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
A-2-(2) 保護者等の支援		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
18	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等からの相談に応じる体制がある。
	相談窓口をはっきりわかる掲示がされています。登園、降園時には、積極的にコミュニケーションをとり、信頼関係をより深いものにできるように配慮されています。若い職員が多い中での子育て経験の職員が一丸となってサポートに取り組んでいます。子ども園での姿を知らせるだけでなく、気になることは担任だけでなく、園長、主任も一緒になって相談や担任へのアドバイスが積極的に行われています。様々な職種の職員も気軽に相談できる体制づくりをされています。職員の研修の一環として、相談の乗りやすいコミュニケーション力を上げる研修を行っています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
19	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 虐待等権利侵害の可能性がある職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
	マニュアル作成がしっかりと作成されています。マニュアルに基づいた職員研修を行っており、外部の研修にも参加しています。登園時の一人ひとり玄関先対応し、保護者の様子や子ども表情を観察し日々の様子を見守り、職員間で情報共有を図っています。児童虐待防止法研修にも参加し職員会議等で共通理解を図っています。現時点では事例がないが、具体的な取り組みについて外部等の事例などの研修をとおり、相談、対応に応じられる仕組みづくりの構築に期待いたします。		<input type="checkbox"/>	ウ 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ マニュアルにもとづく職員研修を実施している。

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
20	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い保育実践の改善や専門性の向上に努めている	b	<input type="checkbox"/>	ア 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
	乳児会議、幼児会議により保育の計画を策定され保育、計画の見直し検討がされています。本部独自のシートによって職員がそれぞれ目標シートを作成し、それに基づいて自己評価を行い面談が行われています。職員はそれぞれの立場で会議に出席し、職員間での学びの場にもなっています。環境スケールや目標シートを通して職員の保育技能レベルの平準化を園全体で取り組む組まれることを期待いたします。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。